

2025年(令和7年)

9/25

No. 1329

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8

(東京都トラック総合会館)

☎(03)3359-6251(代表)

☎(03)3359-4134(総務部広報・情報G)

《ホームページアドレス》<https://www.totokyo.or.jp/>

トラックフェスタTOKYO 2025



能登復興支援



職業体験コーナー

業界への理解と親しみを



藤田局長



三浦課長



長谷部区長



オープニングセレモニーでは、水野会長のあいさつに続き、来賓を代表して、藤田礼子関東運輸局長、三浦弘賢東京都民安全総合対策本部総合推進部交通安全担当課長、長谷部健渋谷区長があいさつした。

安全・環境・復興支援へ 取り組み続ける



今回のフェスタは、会場をこれまでの野外ステージ・イベント広場に、加え、ケヤキ並木エリアを渋谷側まで拡大して開催。今年もオープニングセレモニーが野外ステージから幕を開けた。主催者を代表して水野会長があいさつし、「トラックの力で安全と地球環境を守り抜く」ということを目的としていた。来場いただいた皆様、フェスタを通じてトラック運送業界に対する理解を深め、少しでも親しみを感ぜてもらえれば、私たち事業者にとって勝るものはない」と述べた。

東京都トラック協会(水野功会長)は9月14日、渋谷区・代々木公園で「トラックフェスタTOKYO 2025」親子で体験 安全と環境」を開催した。都心では真夏日が続き、当日も気温30℃を超える中、親子連れをはじめ昨午を超える約1万4千人が来場。フェスタの開催を通じて、緑ナンバーのトラックが安全・環境・被災地復興支援の取り組みを続けていることをアピールした。

1万4千人超が来場



今回のフェスタは、会場をこれまでの野外ステージ・イベント広場に、加え、ケヤキ並木エリアを渋谷側まで拡大して開催。今年もオープニングセレモニーが野外ステージから幕を開けた。主催者を代表して水野会長があいさつし、「トラックの力で安全と地球環境を守り抜く」ということを目的としていた。来場いただいた皆様、フェスタを通じてトラック運送業界に対する理解を深め、少しでも親しみを感ぜてもらえれば、私たち事業者にとって勝るものはない」と述べた。

今回のフェスタは、会場をこれまでの野外ステージ・イベント広場に、加え、ケヤキ並木エリアを渋谷側まで拡大して開催。今年もオープニングセレモニーが野外ステージから幕を開けた。主催者を代表して水野会長があいさつし、「トラックの力で安全と地球環境を守り抜く」ということを目的としていた。来場いただいた皆様、フェスタを通じてトラック運送業界に対する理解を深め、少しでも親しみを感ぜてもらえれば、私たち事業者にとって勝るものはない」と述べた。



水野会長



トラック・架装メーカー

「トラックフェスタ」特集 5・8面

新たなトラック輸送の時代へ

関ト協

8都県の会員事業者が参集

関東トラック協会(会長・水野功)は9月12日、栃木県宇都宮市のライトキューブ宇都宮で、令和7年度・第68回関ト協事業者大会を開催し、関東1都7県トラック協会から約400人が参加した。

第68回 事業者大会

「労働時間規制の強化に対応した働きやすい職場環境の整備による労働力の確保と人材育成に向けた諸対策を推進しよう」、「標準的運賃を活用した適正な運賃・料金の収受による持続的なトラック



「2つの法律案が成立したこと、新たなトラック輸送の時代が始まり、我々トラック事業者が安全で安心な輸送手段として社会から選ばれるよう、初心に立ち返り、襟を正して事業を展開していくことが求めら



初心に返り、襟を正した事業展開を

「標準的運賃を活用した適正な運賃・料金の収受による持続的なトラック輸送の品質向上などを目的とする、貨物自動車運送事業法の改正案とそれを担保するための新たな法律案が6月4日に可決成立したことについて触れた上で、

議長に選出し、山崎正専務理事(東ト協専務理事)が、第67回大会の内容と昨年度の要望活動について報告。物流の2024年問題対策の実施や、燃料価格高騰に対する支援の拡充などの実現について説明した。



公正取引委員会は9月10日、東京都内の運送事業者などに販売する軽油の販売価格を不正に引き上げるなどのカルテルを結んだ疑いが強まったとして、石油製品販売会社8社に独占禁止法(不当な取引制限)違反

とになり、誠に遺憾である」とし、公取委に対して、徹底的な事実の解明と、独禁法などの法令に基づいた厳正な対処を求めた。

また、石油連盟の木藤俊一会長は9月18日の定例記者会見で、「国民の不信感につながるような行為は一切やつてはならないし、許されない」と述べ、一連の問題を受け、石連加盟の各社に対し、同日付で法令遵守の徹底を要請する文書を出した。

トラックフェスタ TOKYO 2025特集	1・5・8
自動点呼機器・DX導入促進助成受付	3
第25期物流経営士課程修了式	4
3件目の会員一当死亡事故が発生	6
九都県市、ディーゼル車対策強化月間	6

「8都県のトラック輸送事業者は、今後とも関ト協の下、力を合わせ、山積する諸課題の解決に英知を集結し、『安全・安心』で環境に優しい輸送に努め、『トラックは生活と経済のライフライン』としての役割を果たしていくことを宣言する」として大会宣言を読み上げ、満場の拍手で採択された。

第2部では、宇都宮市建設部LRT整備課整備グループの鯉淵良人係長が「芳賀・宇都宮LRT事業について」と題して講演。75年ぶりの新規開業となった路面電車「宇都宮ライトレール」のこれまでの経過と、公設型上下分離方式による事業成功の秘訣を紹介。今後大会は9月に茨城県水戸



市にて開催予定で、開催の茨城県ト協の小倉邦義会長が参加を呼びかけた。議長降壇後、功労者表彰を行い、前回大会以降に退任した関ト協副会長・常任理事6氏に対して感謝状を贈呈した(写真・左)。

大会には、来賓として、関東運輸局の藤田礼子局長、栃木労働局の川口秀人局長、栃木県警察本部の杉本孝本部長が出席し、あいさつした(写真・右)。

なお、大会終了後、懇親会を開催し、福田富一栃木県知事、佐藤栄一宇都宮市長が来賓としてあいさつした。

10月は推進月間

「大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会」事務局・国土交通省関東地方整備局道路部交通対策課は、10月を「大型車通行適正化推進月間」として、特に荷主や工事発注部署および地方貨物自動車運送適正化事業実施機関を通じて、ト

運転記録証明書等交付料助成

東ト協 改定に合わせ引き上げへ

東京都トラック協会は10月1日から、令和7年度「運転記録証明書等交付料助成」の助成額を1人当たり800円に引き上げ、1人当たり670円から800円へ改定され

ることを受けたもの。東ト協では、会員事業者の日常の安全管理に供するとともに、交通事故防止の推進を図るため、運転記録証明書などの取得時の交付手数料を助成している。

助成に関する問い合わせは、東ト協業務部交通・環境G(03・33359・6257)

「大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会」事務局・国土交通省関東地方整備局道路部交通対策課は、10月を「大型車通行適正化推進月間」として、特に荷主や工事発注部署および地方貨物自動車運送適正化事業実施機関を通じて、ト

また、各道路管理者で「重量守り、道路を守るう」



「大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会」HP

競争力強化・DX推進など

東京都と都中小企業振興公社は9月19日から、令和7年度第2回「躍進的な事業推進のための設備投資支援事業」の公募を開始している。

都内の中小企業者が、製品・サービスの質的向上による競争力強化や、生産能力の拡大のための生産性向上を進める際に必要となる、機械装置や器具備品、ソフトウェア

▽対象者Ⅱ基準日(9月1日)現在、都内に登記簿上の本・支店があり、2年以上事業を継続している中小企業者など。

①競争力強化Ⅱ(1)さらに発展に向けて競争力強化を目指す事業展開に必要となる機械設備を新たに導入する事業、(2)運送・物流などの業種で、令和6年4月から適用された働き方改革関連法に

②DX推進ⅡIoT、事業承継を契機として、後継者による事業多角化や、新たな経営課題への取り組みに必要となる機械設備を新たに導入する事業

▽対象経費Ⅱ機械装置、器具備品、ソフトウェアの導入経費
▽設備設置場所Ⅱ都内をはじめ関東7県(都外設置の場合は、都内に本店があること)
▽申請受付Ⅱ9月19日から10月2日午後5時まで(国の電子申請システム「Jグランツ」で申請を行う)

③イノベーションⅡ都市課題の解決に貢献し、国内外において市場の拡大が期待される産業分野において、新事業活動に取り組むことで、イノベーションによる生産性向上のために必要となる機械設備を新たに導入する事業(4分の3以内/1億円/2億円)

※省エネルギー効果が、高い取り組み内容や一定の賃上げ計画に依り、実施する場合に助成率を拡充

東京都 都中小公社

設備投資支援事業の公募開始

後継者による事業多角化や、新たな経営課題への取り組みに必要となる機械設備を新たに導入する事業

①(1)・②④2分の1/5分の4以内/10万円/1億円

⑤アップグレード促進Ⅱ競争力強化および生産性向上を実現し、地域経済の中心となるべく成長

詳細は、都中小公社ホームページを参照。

▽申請に関する問い合わせ先Ⅱ都中小公社設備支援課(03・3251・7884)

5月1日現在、都内に登記簿上の本・支店があり、2年以上事業を継続している中小企業者など。

④後継者チャレンジⅡ事業承継を契機として、

運輸 点描

物流の2024年問題などを契機として、トラック運賃・料金は上昇傾向をたどったが、ここへきて様相が少し変わりつつある。全日本トラック協会の「景況感調査」によれば、運賃・料金の指標は昨年より大きく水準を下げている。基調としては上昇傾向に変わらないが、停滞気味だ。当面可能な範囲のコスト増分の転嫁が一巡したのかもしれないが、まだ転嫁は十分に浸透したとは言い難い状況。国内企業物価の指標と比較すれば、トラック運賃・料金の上昇幅はそれを大きく下回る水準にある。

トラック運賃指標の動向

最近の物価上昇の主な要因の1つに、トラック輸送など物流費の上昇が挙げられる。中小事業者ではそれほど上がっていないとの声も少なくないが、これまでよりは上昇傾向にあるようだ。

全ト協が四半期ごとに行っている景況感調査によれば、一般貨物の運賃・料金の判断指数は令和4年10/12月期以降、プラス水準で推移。5年4/6月期からは6期連続で上昇を続け、6年7/9月期には47・2まで高まったが、続く10/12月期はわずかに下がったものの、ほぼ横ばいの高い水準だった。

一方、輸送需要はどうかといえ、どうも芳しくない。一般貨物の輸送量の指数はマイナス水準が続き、ようやく6年10/12月期と7年1/3月期に小幅なプラス水準に浮上したものの、次の4/6月期は再びマイナス水準に転じている。

こうした輸送需要と運賃・料金の動向をみると、必ずしも連動していない。つまり、最近の運賃・料金の上昇傾向は需要の好転によるものではなく、運転者不足で輸送能力不足への懸念が強ま

上昇基調も指標低下し停滞感 転嫁進め収受水準の底上げを

り、そうした中での人件費や物価の上昇といったコスト増が、主な要因といえよう。

現状、これらの押し上げ要因が緩和されたわけではない。ただ、推測になるが、その中で上昇傾向が最近、停滞気味になっているのは、ようやく転嫁がある程度進み、一巡しつつあるからではないかと思われる。

また、NX総合研究所の2024年問題に関する追加調査(6月実施)によると、トラック運賃が「高くなった」(上昇幅5/10%未満)が41・6%と最も多く、次いで「やや高くなった」(同3/5%未満)が34・4%。また「非常に高くなった」(同10%以上)は13・4%だった。

さらに、トラック運賃・料金の上昇幅が相対的に低いことを端的に示しているのが、日本銀行の統計だ。

7月の国内企業物価指数(令和2年平均を100とする)は126・60とする。126・60だが、同月の企業向けサービス価格指数(同)をみると、道路貨物輸送(トラック運送)は108・0にとどまる。5年前より10%も上がっていない状況だ。

最近のコスト増を反映した適切な運賃・料金水準とは、とてもいえないのではない。こうした実態を踏まえ、引き続き、その底上げを図っていく必要がある。

中退共制度の活用を 国が退職金サポート

独立行政法人勤労者退職金共済機構は、国が一部助成している中小企業退職金共済(中退共)制度への加入を呼びかけている。

魅力ある企業づくりや、従業員の仕事への意欲醸成などにも資する制度であることから、同機構では中小企業事業主の活用を呼びかけている。

詳細は、中退共ホームページを参照。

▽問い合わせ先Ⅱ中小企業退職金共済事業本部(03・6907・1234)

数が300人以下、②安全性優良事業所(Gマーク事業所)を有する場合、③2台まで(1台当たり上限10万円)

※全ト協・東ト協の助成の併用が可能(ただし、8年2月27日の間に契約、もしくは利用開始したもので、受付期間中に申請されたもの。

詳細は、東ト協ホームページを参照(申請様式のダウンロードが可能)。

▽問い合わせ先Ⅱ東ト協業務部交通・環境G(03・3359・3618)

業務前自動点呼機器導入に助成

東ト協は全日本トラック協会取次事業として、令和7年度「自動点呼機器・DX導入促進助成事業」の申請受付を行っている。

8月8日付で国土交通省が制度化した「業務前自動点呼機器」の利用開始を受け、助成対象の範囲を一部改正した。これにより、従来の業務後自動点呼機器に加えて、業務前点呼機器も助成の対象となる。

【申請受付期間】4月18日/8年2月27日(必着/全ト協・東ト協の交付限度総数に達した時点で受付終了)

【助成額・助成台数】▽対象の自動点呼機器の導入費用(機器本体のほか、部品や付属品、セッティングなどの費用、契約期間中のサービス利用料を含む/消費税は含まない)について、10万円を上限に助成

▽申請台数は1事業主として1台

8年2月まで受付

協業務部交通・環境G(03・3359・3618)

矢崎の デジタコ・ドラレコ

今お使いのバックアイカメラの映像を録画できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店
世田谷サービス株式会社
本社 03-5727-1600 (担当・青木)
高島平 03-6906-5960 (担当・磯田)
ホームページ <http://www.setagaya-yss.co.jp>
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

東ト協
第25期
物流経営士課程

東京都トラック協会は9月10日、東ト総合会館で第25期物流経営士課程の修了式を開催し、菊池正浩副会長(経営教育委員長)が所定の講座を修了した27人の代表として、矢島智子氏(有隣運送・中央支部)に修了証書を授与した。



27人が新たに修了

修了証書の授与に続いて、各賞の表彰が行われ、最優秀賞は栃谷晃二氏(フコックス・深川支部)が受賞。このほか、優秀賞3人・皆勤賞13人・精勤賞5人を表彰した。修了生は、全日本トラック協会の「物流経営士」として認定され、坂本英也経営改善事業部長から、認定証・携帯証・襟章が授与された。

東ト協の講座から輩出された「物流経営士」は、25期修了生を含め703人となった。この後、カリキュラム検討会議・修了認定会議委員の中田信哉神奈川大学名誉教授が「講座を通じて、物流に関する知識、同業他社とのネットワーク、物流経営士の称号を得たが、これらを使っていかなければ意味がない。今後の物流業界は人材の確保が重要となる。ぜひ、3つのツールを業務に生かしてほしい」と祝辞を述べた。

物流経営士は703人に

修了生は、次の通り(敬称略、カッコ内は所属会社・団体名)
▽浅利浩之(多摩運送)
▽大野秀徳(竹内運輸工業)
▽勝又紀市朗(ヤマト運輸)
▽菊島玲央(東亜物流)
▽木戸龍一(サンコー・栃木)
▽功刀涼(サンコー流通センター)
▽齋藤拓実(多摩恵運輸)
▽寒河江勇(ブライト・神奈川)
▽先川原竜也(松下運送)
▽高橋幸一(多摩運送)
▽高畑道(PSトランスポート)
▽田中翔悟(セイショウ)
▽土屋智(清野運送)
▽栃谷晃二(フコックス)
▽仲川朋宏(中央運輸)
▽中田新二(フコックス)
▽新出隆司(千代田運輸)
▽早川智(東貨流通)
▽林利也(ホレスト・埼玉)
▽藤波秀成(藤波運輸・埼玉)
▽松丸健(フコックス)
▽矢島智子(有隣運送)
▽山崎靖司(浅井)
▽山下真登(有隣運送)
▽山本大知(進正運輸)
▽吉田涼太郎(茂呂運送)
▽我妻祐志(我妻商事・埼玉)

秋の全国交通安全運動



東ト協は9月22日、中央自動車道石川パーキングで、警視庁高速隊と合同街頭活動に参加。同日は東ト協適正化事業部から8人が参加。都内で交通事故が増加傾向にあることから、高速隊や関係団体などのメンバーと連携して、チラシやノベルティを配布しながら注意喚起した。

SAで合同街頭活動
加。高速道路利用者に対して、交通安全運動期間中であることを周知するとともに、速度超過の防止や適正な車間距離の確保などを呼びかけた。

交通安全研修会

東ト協女性部(原玲子本部長)は9月3日、東ト総合会館で令和7年度「交通安全研修会」を全会員事業者対象のオープン研修として開催し、100人を超える受講者が参加した。研修会では、警視庁交通部の工藤雄雄管理官が「最近の交通事故情勢と改正道路交通法」「マイナンバーカードと運転免許証の一体化をテーマに講演した。工藤管理官は、昨年の

事故防止対策とマイナ免許証を解説



東ト協 女性部

多いことから、トラックドライバーに対し注意を求めた。企業における安全運転管理として、交通事故は大きなリスクであり、保険金額が無制限の任意保険をかけているから安心するのではなく、事故処理に伴う人件費など間接的な損害に備えることが必要と説明。外国人運転者による死亡・重傷事故件数は増加傾向にあることから、従業員に対する指導が求められるとした。このほか、ドライブレコーダーの映像を使ったトラックの交通事故防止対策として、交差点では一時停止をするなど、確実な安全確認を呼びかけた。

ITスキルアップを目指す



東ト協は11月10日、14日の5日間、令和7年度「運送業のITスキルアップを目指すパソコンセミナー」を開催する。WordやExcel、Power Point、Excel①(初級)、Excel②(中級)、Excel③(中級)、Excel④(中級)の5コース。11月10日/13時、11月11日/10時、11月12日/10時、11月13日/10時、11月14日/10時の5日間。受講料は3000円(テキスト代を含む)。1レッスンのみの受講も可能。受講対象は、会員事業者の経営者、管理者、社員。会場は、東ト総合会館6階研修室。定員は、各レッスン20人の計100人(先着順・1社1人を優先)。受講料は3000円(テキスト代を含む)。1レッスンのみの受講も可能。受講対象は、会員事業者の経営者、管理者、社員。会場は、東ト総合会館6階研修室。定員は、各レッスン20人の計100人(先着順・1社1人を優先)。

東ト協 パソコンセミナー



東ト協は9月9日、長年にかたり会員事業者を対象とした普通救命講習の開催により、救急業務の充実・発展に多大の貢献をしたことから、東京消防庁四谷消防署長から感謝状を受領した。同日は、四谷消防署の川村亮太郎署長が東ト協総合会館を訪れ、山崎正専務理事に感謝状を贈呈した(写真)。

東ト協 四谷消防署から感謝状

道路交通法の一部改正については、酒気帯び運転の罰則強化や「ながらスマホ」の禁止、来年4月から施行される自転車等に対する交通反則通告制度(青切符)の適用について説明した。最後に、マイナンバーカードと運転免許証の一体化について、住所変更手続きなどのワンストップ化やオンラインによる更新講習受講などのメリットがある一方で、マイナ免許証のみの場合、運転要件の確認にはアプリが必要であり、現状では運行管理上での活用が難しいと述べた。

軽油の価格	
☆スタンド	平均=134.2円
☆ローリー	平均=125.1円
☆元売り発行カード	平均=134.9円
☆ディーラー発行カード	平均=131.8円

10当たりの軽油価格(東ト協調べ)

8月分

購入価格は、購入に関する諸要因(数量・支払条件・地域ほか)により多少の幅があります(消費税込み)。

燃料給油は東京都内で軽油引取税は地方税です

【港支部】
◆富士物流株式会社
港区三田3の10の1
03・3454・8411
▽一般貨物運送、利用運送

新会員

11日(土) 9時11初任運転者特別講習会(東ト総合会館)
15日(水) 13時11全国トラック運送事業者大会(朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター)

3日 女性部正副本部長会議▽同幹事会▽同交通安全研修会
4日 運輸安全委員会
5日 トラックフェスタ TOKYO2025支部説明会▽同ワークショップグループ会議
10日 鉄鋼専門部会役員会▽物流経営士課程第25期修了式▽同修了記念パーティー
11日 海上コンテナ専門部会業務委員会▽正副会長会
12日 九都県市合同防災訓練(神奈川県コース)▽関東トラック協会事業者大会・懇親会▽出版・印刷・製本・取次専門部会役員会(全体会議)
14日 トラックフェスタ TOKYO2025



荷物積み卸し体験



千代田・中央・港支部

子ども免許証の交付



品川・大田支部

交通安全射的ゲーム



渋谷・目黒支部

東京農業大学と物産品販売



世田谷支部

サッカーチームとミニゲーム



新宿・中野・杉並支部

地震体験コーナー



新宿・中野・杉並支部

キッチンカーと飲料販売



墨田・台東・荒川支部

飲料販売



深川・城東・江戸川支部

型抜き



葛飾・足立支部

職業体験コーナー



スタンブラリー



能登復興支援



本部・支部が一体で運営

東京都トラック協会が主催した「トラックフェスタ TOKYO 2025」には、厳しい残暑の中、家族連れを中心に1万4000人超が来場した。

今年はイベント広場の支部ブース出展を、支部ブロックや複数支部で運営することを基本方針とし、単独支部の負担軽減や他支部との交流促進を図った。また、本部企画の「職業体験」「スタンブラリー」「能登復興支援ブース」には、各支部メンバーが協力するなど、本部・支部が一体となるフェスタ運営とした。さらに、フェスタ実行プロジェクトメンバーにはロジスティクス研究会のメンバーが多く参加しているほか、青年部メンバーが交通誘導、女性部メンバーが「能登復興支援ブース」の運営支援など、三組織が全面的に協力した。

ケヤキ並木エリアのトラックメーカー・架装メーカーブースには、各メーカーの大型から小型までさまざまなトラックが展示され、運転席への乗車体験や、荷台冷凍室内に入る体験ができるなど、子どもたちにトラックを身近に感じてもらえることができた。

ステイジイベントや支部ブース、関係団体ブースでは、安全・環境に関連した出展も行われ、業界を挙げた交通安全と環境保全の取り組みを、多くの来場者にアピールした。

フェスタのもう一つのテーマ「復興支援」では、昨年に続き自衛隊の災害派遣車両や、東ト協の緊急輸送車両を展示。支部や関係団体ブースでも関連する出展が行われた。

このほか、キッチンエリアには、複数のキッチンカーが並び、来場者を楽しませていた。

フェスタの最後、関係者が一堂に会しクロージングセレモニーを開催。森本勝也副会長・フェスタ実行プロジェクトリーダーは、多くの来場者や関係者に感謝の言葉を述べた。



森本副会長

関係者に感謝の言葉を述べた。また、フェスタの最後、関係者が一堂に会しクロージングセレモニーを開催。森本勝也副会長・フェスタ実行プロジェクトリーダーは、多くの来場者や関係者に感謝の言葉を述べた。

ドラコン最優秀者・GEPTトップランナー 優秀賞を表彰



水野会長と永井氏



水野会長と小林氏、林氏



佐藤本部長

安全・環境の宣言

フェスタの野外ステージで行われたオープニングセレモニーでは、安全・環境の宣言が行われた。また、グリーン・エコプロジェクトトップランナー優秀賞表彰では、東京ロジステック小林徳市運送(港支部)の小林大悟取締役と、ハヤシ配送サービス(墨田支部)の林秀行代表取締役に水野会長がそれぞれ表彰状を授与した。

トラックフェスタ フォトコンテスト

インスタ投稿から入賞作品を選定

東ト協は、フェスタ関連のイベントとして、「トラックフェスタフォトコンテスト」を今年も実施している。来場者がフェスタ会場内で撮影した写真から入賞作品を選定するもの。所定のハッシュタグをつけてInstagram(インスタグラム)に投稿された写真を対象に、入賞作品を選ぶ。

開催概要

【募集期間】9月30日まで。【募集内容】募集期間中にインスタ公式アカウント「@truck_festatokyo」(二次元コード参照)をフォローの上、キャプションなどに撮影地や被写体の説明を記載し、ハッシュタグ「#トラックフェスタTOKYO2025」をつけ、トラックフェスタの会場の様子を撮影した写真をインスタにて投稿。【審査方法】「トラックフェスタTOKYOの魅力発信」をテーマに、実行委員会の審査により決定。【入賞・賞品】最優秀賞(1名)／クオカード3万円分、特別賞(2名)／同1万円分、入賞(10名)／同1千円分。【入賞作品の発表】東ト協ホームページ(HP)・インスタで発表。詳細は、東ト協HPのフェスタ特設サイトを参照。

応募フォーム
二次元コード



東京都トラック協会
員関与の第一当事者死亡
事故が発生した。今年3
件目で、令和6年中に発
生した、会員一当死亡事
故件数に並ぶもの。今年
2月27日の発生以来、8
月4日に次いで9月10日
に発生したもので、2か
月連続となる。

東ト協では、9月21日
から30日までの「秋の全
国交通安全運動」の実施
に当たり、24日を街頭指
導活動統一実施日と設定
していることから、本部
と支部が歩調を合わせ
て、事故防止活動を展開
することとしている。取
り組みに当たり、1件で

トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通・環境G ☎03-3359-3618
※事故速報は東ト協ホームページでPDFデータも掲載しています

◎前方だけでなく、左右、後方を含めた周囲の交通状況にも注意を払うこと。
また、「かもしれない運転」を励行し、未然に危機を回避できるよう努めること。

日時	9月10日(水) 19時10分頃発生(晴天)
場所	大田区(区道)
当事者	①自動二輪車(男性50代死亡) × ②事業用準中型貨物車(男性50代) × ③事業用普通乗用車(男性40代) 期番は過失の軽重を示すものではありません
状況	大田区南馬込
概要	事業用準中型貨物車②が下り坂の区道で、中馬込方向から平和島方向に向けて配達業務で駐車し、配達を終えて自車に乗り込む際、右後方の安全確認を怠り運転席ドアを開き乗り込むも、下り坂であったためドアが想定より開き、右側方を通過しようとした自動二輪車①に同ドアを接触させ、その後、対向車の事業用普通乗用車③に同人を衝突させたもの。

◎運行中は前方や周囲の状況への注意を怠らないこと。トラックは死角が多いので、対向車および周囲の交通状況に特段の注意を払い、安全確認を徹底すること。

日時	9月15日(月) 1時31分頃発生(晴天)
場所	靖国通り(都道)
当事者	①歩行者(男性70代死亡) × ②事業用準中型貨物車(男性50代) 期番は過失の軽重を示すものではありません
状況	千代田区東神田
概要	事業用準中型貨物車が靖国通りを両国橋方向から岩本町方向に第一通行帯を進行中、右方から左方へ横断してきた歩行者と衝突したもの。

九都県市 10月は「ディーゼル車対策強化月間」
首都圏(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県)では、ディーゼル車から排出される粒子状物質(PM)による大気汚染対策として、平成15年10月から、1都3県の条例により、排出基準を満たさない旧型式のディーゼルトラック・バスなどの運行を禁止している。
この条例は、周辺地域から乗り入れてくる車両を含め、首都圏を運行する全てのディーゼル車に適用される。
九都県市では、条例に基づき検査や広報活動などを実施しているが、いまだに条例の排出基準に適合しない車両が首都圏を運行していることが確

められている。
このため、首都圏を運行する際は、排出基準に適合した自動車を利用するよう確認を求めている。
○規制の主な内容
PMの排出基準を満たさないディーゼル車は、首都圏で運行が禁止されている。
▽対象地域Ⅱ埼玉県、千葉県、東京都(島しょ地域を除く)、神奈川県
▽対象車種Ⅱ軽油を燃料とするトラック、バスおよびこれをベースに改造した特種用途自動車
▽罰則Ⅱ50万円以下の罰金
○排出基準を満たさないディーゼル車とは
自動車検査証の「型式欄」に次の識別(記号)がある車両は、次の地域では運行ができない。なお、条例で指定されたPM減少装置を装着した車両

違反別		営業用トラック関与の交通事故										令和7年8月末 年間累計										
発 生 件 数	大 型	安全 不確認	65	前方 不注意	28	交差点 安全進行	21	歩行者 妨害	3	一時 不停止	0	ハンド ルブレー キ	8	信号 無視	1	徐行 違反	0	左右折	0	その他	31	157
		関与事故件数 (前年比)	68	22	23	3	0	4	1	0	0	81	202									
	中 型	1当件数	52	29	25	7	0	12	6	0	0	17	148									
		関与事故件数 (前年比)	49	27	28	7	0	11	6	0	50	178										
	準 中 型	1当件数	+6	+5	+14	2	±0	+6	+4	-1	-1	+5	+30									
		関与事故件数 (前年比)	76	63	32	5	3	10	3	0	0	54	246									
	普 通	1当件数	79	57	43	5	3	9	3	0	0	131	330									
		関与事故件数 (前年比)	-11	+5	-6	-3	-2	-3	-5	±0	-1	+2	-24									
	軽 型	1当件数	256	123	146	20	17	38	15	5	2	108	730									
		関与事故件数 (前年比)	278	116	175	20	17	38	15	4	2	306	971									
合 計	1当件数	-21	-5	+18	-6	-1	+10	±0	-3	+2	-44	-50										
	関与事故件数 (前年比)	449	243	224	35	20	68	25	5	2	210	1,287										
死 者 数	大型貨物車(1当)	474	222	269	35	20	62	25	4	2	568	1,681										
	中型貨物車(1当)	-23	-3	+28	-9	-3	+4	-2	-4	±0	-36	-48										
	準中型貨物車(1当)	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5										
	中軽型貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
	普通・軽貨物車(1当)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1										
		普通・軽貨物車(1当)	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	1	6								

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

事故発生件数は2
万1105件で、
前年同期比344
人(1・7%)の
増加。死者数は97
人(1・7%)の
増加となった。
都内の交通事故発生件
数は、7月末時点で、同
3件減少であったが、8
月末時点で同179件増
加し、減少傾向が一転す
る事態となっている。

たくさんの笑顔が走る 首都東京

令和7年8月 48件減少したが、死者12
末現在の都内全 人で前年同期比1件増加と
域の交通事故発生件数(本 なった。
年累計)は、19,749件で、 事故類型別では、左右折
前年同期比179件増加した 時の車両相互事故が211
が、死者85人で前年同期比 件で前年同期比12件増加
4件減少となった。 し、死者数は0人だった。
営業用貨物車の関与事故 違反別では、安全不確認
(「違反別」表の下段「注」 による関与事故件数が474
参照)発生件数(本年累計) 件で、前年同期比23件減少
は、1,681件で前年同期比 となっている。

運転寿命を延ばすための 視野障害対策

視野障害の早期発見
早期治療・治療継続
運転寿命を延ばす

オリジナル
編集版
DVD 付冊

「信号機が消える！」
～視野障害(緑内障)が引き起こす交通事故を防ぐために～

正常視 視野障害者

関東交通共済協同組合

関交協 オリジナル 冊子

運転寿命を延ばすための 視野障害対策

関交協では運送事業者の皆様とともに、交通事故削減を課題とし、
様々な事故防止支援を行っております。

この度、視野障害が原因となる交通事故を防ぐため、事業者が取り
組むべき内容をまとめた DVD 付冊子を制作しました。

国土交通省事業用自動車総合安全プラン2025の施策でも挙げら
れた取り組むべき課題「健康に起因する事故の増加への対応」に則し
た指導・教育にご活用ください。



関東交通共済協同組合

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで
TEL : 03-5337-1754
MAIL : ansui@kankokyo.or.jp



ビルの裏側に「安宅丸由来碑」がある



『大はしあたけの夕立』(歌川広重作)

散歩旅でリフレッシュ

「散歩旅」を楽しむ人たちが、気分転換やリフレッシュに励んでいる。酷暑続きで現在は休止中だが、夜に虫の声が響き、秋の気配もようやく漂い始め、そろそろ活動再開の時期を迎えている。散歩といえば生活圏内のイメージがあるが、「旅」と名付けているので、あえて生活圏から離れ、日ごろ行き来しない所を選ぶ。

歩き回っている。散歩には気分転換やリフレッシュ、ストレス解消の効果があるほか、歩くことで無意識に感覚が働き、好奇心を満たしたり新しい刺激を受けたりすることができ、健康にもよいなど、いろいろな効果が期待されている。

散歩というだけに気軽であり、自由度が高い。必ずしも行き先を決めなくてもよいが、「旅」が付くだけに、一応目的地のエリアは決めておく。ただし、その先は気分任せ。例えば、鎌倉の散歩。鎌倉大仏や長谷寺や極楽寺から江の島方面に進み、鎖大師、密蔵寺(愛染かつら)などを訪ね、最後は湘南モノレールに乗る、という計画だった。ところが、江ノ電側から長谷大谷戸を抜けて裏手から大仏を拝した後、由比が浜方面に向かって歩いていたら、海を見た途端に「江の島に行こう」と誰ともなく言い出し、一気に江の島へ足が向いた。そのおかげで生シラスにありついたり、名物に出会えることもある。関心や興味の赴くままに寄り道ができる、この自由こそ散歩ならではの。

散歩中、人通りの少ない場所では「早歩き」に切り替え、健康効果を意識してみたりする。実際、群馬県中之条町で65歳以上の地域住民約5000人を対象に、医学的に研究

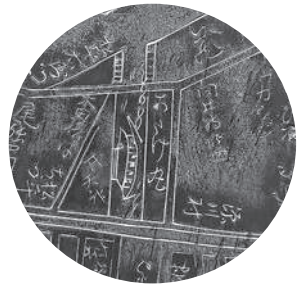
自由度歓迎、柔軟性は楽しい



「あッ！そうだったのか」がうれしい。浮世絵の遠景には夕立の中、徳川幕府の巨大軍用船「安宅丸」を格納する御船蔵がぼんやりと描かれていて、そこから「あたけ」という地名に転化したのだろうと分かったことだ。安宅船は戦国時代に軍事船として建造され、大型の船体に多数の兵員や火力を積み、甲板の上に櫓を設置したり、船体を鉄板で装甲するものもあった。江戸幕府の「安宅丸」は1630年代に建造した巨大船で、竜骨長約38メートル、横幅約16メートル、水軍と海賊の戦国史より」と推定している。「あたけ」からあらちちと、歴史や由来をたどった思い出がよみがえった。散歩の効果の一つ「幸せホルモン」で気分を高めてくれるのも、散歩旅の醍醐味である。



安宅丸由来碑



安宅丸の位置(拡大) 延宝7年(1679年)当時の様子

安宅丸解体後には、近江屋版の江戸切絵図の嘉永4年(1851年)に「あたけ」という御船蔵前町」とある

護摩の炎と山伏達の読経



今回は縁があつて、福島県いわき市にある真言宗智山派のお寺の手伝いをしました。

約1200年の歴史がある関ヶ原、蔵薬師常福寺では、毎年夏大祭「柴燈大護摩供」が執り行われます。

「柴燈大護摩供」は、修験道の作法によって行われます。不動明王の「智慧の炎」によって煩惱や災厄を焼き尽くし、天下国家の安泰や五穀豊穰などを祈願する護摩祈禱です。祭事の前日には、境内に薪やヒバの葉でつくられた護摩壇が設置され、その周りに竹と麻縄で結界を張り、道場を整えていました。

当日は山伏達が集まり、準備をします。私は祭壇を組み立てたり、お供えや道具を運んだりしました。祭壇には立派な不動明王像。思わず身が引き締まります。山伏達が衣装を身に着け、いよいよ祭りが始まります。

道場に山伏達が入場し、修験道の心得や教義についての質疑応答の儀式である山伏問答を行います。そして、斧、法弓、宝剣によって道場に結界を張り、護摩壇に火が入ると、炎が大きく燃え上がります。

炎天下の中、11人の山伏が般若心経を唱え続けるのを聞いていると、軽い瞑想状態に入るような感覚になりました。横にいた小学生の女の子は、読経と太鼓に合わせて体を揺らしていました。この子は大人になっても、きっとまた来るでしょう。

護摩壇が燃えた後は、参拝者が火渡りをします。はだしの灰の上を歩きますが、やけどをしないように配慮されていて、厄払いができます。

山伏の方から、地域によつては祭事の伝承が難しくなってきたり、聞こえなくなったり、しこのような「火」が絶えてしまったら、果たしてその地域は本当に存続できるのだろうか、そんな思いが胸に残りました。

ポケット

心に残る夏大祭の手伝い



米騒動も収まり、価格が少しは下がるかと期待したが、当てが外れた。農協が生産コスト上昇を理由に、農家からの買い取り価格を大幅に引き上げた。高値を提示する他の集荷業者に対抗する狙いもあり、新米争奪戦の様相だ。米不足への懸念が払拭されず、高値でも需要が見込めるとみてのことだろう。政府は今回の騒動を受け、増産へと舵を切る方針だが、すぐに増産できるわけではない。担い手不足と高齢化への対応策もまだ示されていない。◆当面、高値を覚悟する必要があるようだが、消費者の認識も従来とは少し変わってきた。農家の所得の低さや、以前の価格では米作りが難しくなることが報道されると、ある程度の値上りには「致し方ないのでは」といった声も聞かれるようになった。◆トラック運賃も上昇傾向にあるが、米の価格ほど跳ね上がっているわけではない。輸送力維持の観点から、コスト増の転嫁はもちろん、そもそも従来の運賃が適切な水準だったのか、問い直してみる必要があるのではないか。

三丁目

実りの秋を迎えて、新米が店頭に出回りだした。これで「令和の米騒動」も収まり、価格が少しは下がるかと期待したが、当てが外れた。農協が生産コスト上昇を理由に、農家からの買い取り価格を大幅に引き上げた。高値を提示する他の集荷業者に対抗する狙いもあり、新米争奪戦の様相だ。米不足への懸念が払拭されず、高値でも需要が見込めるとみてのことだろう。政府は今回の騒動を受け、増産へと舵を切る方針だが、すぐに増産できるわけではない。担い手不足と高齢化への対応策もまだ示されていない。◆当面、高値を覚悟する必要があるようだが、消費者の認識も従来とは少し変わってきた。農家の所得の低さや、以前の価格では米作りが難しくなることが報道されると、ある程度の値上りには「致し方ないのでは」といった声も聞かれるようになった。◆トラック運賃も上昇傾向にあるが、米の価格ほど跳ね上がっているわけではない。輸送力維持の観点から、コスト増の転嫁はもちろん、そもそも従来の運賃が適切な水準だったのか、問い直してみる必要があるのではないか。

フェスタで見て、感じる 緑ナンバートラックの大きな役割



トランペット五重奏
「ひるまえ」クインテット



みんな de トラックダンスPARTY!!



代々木警察署1日署長の京我りくさんが
参加した「交通安全ビンゴ大会」



ビッグバンド「ペイブリッド・サウンズ・
オーケストラ」のジャズ演奏



ステージでは恒例となっている①東京農業大学全学応援団の青山ほとり ②キッズダンスチーム・スリーセブンのパフォーマンス ③警視庁交通部の交通安全教室など、楽しいプログラムが満載。



トラックで繋がる未来へ

復興支援

自衛隊災害派遣車両や東ト協緊急輸送車両の展示、能登出張朝市ブースの出展、東京消防庁のVR震災体験車、NHKの放送中継車



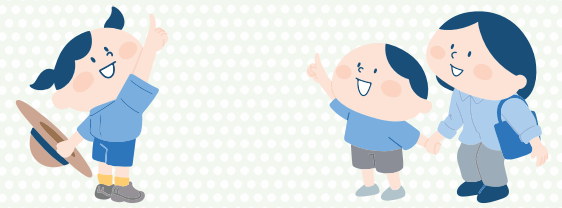
安全

警視庁・首都高速道路サービスのパトロールカーなどの乗車体験、代々木警察署の交通安全アトラクション



環境

東京都環境局のエコドライブや交通渋滞緩和のための運転シミュレーター体験



〈後援〉東京都、環境省、関東運輸局、東京運輸支局、警視庁交通部、渋谷区、東京商工会議所

〈協力〉東京労働局、自衛隊東京地方協力本部、警視庁代々木警察署、東京消防庁渋谷消防署、日本自動車連盟東京支部

〈協賛〉いすゞ自動車首都圏・いすゞ A&S、三菱ふそうトラック・バス南関東ふそう、南関東日野自動車、UDトラックス、関東陸運振興センター、トブレック

日本海事協会 働きやすい職場認証制度、日本臓器製薬、自動車事故対策機構東京主管支所、首都高速道路サービス、関東交通共済協同組合、三多摩自動車協会、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン、運行管理推進ネットワーク、日本自動車連盟 (JAF) 東京支部、ニチコン、東京都トラック運送事業協同組合連合会、新日本流通新聞社、カーゴ・ジャパン、東京海上日動火災保険、損害保険ジャパン、東京自動車販売協会、アスア、物流ニッポン新聞社、東京都自動車会議所、自動車安全運転センター東京都事務所、有富商会、物流産業新聞社、ジーエスケイ、日本貨物運送協同組合連合会、日本ミシュランタイヤ、東ト協会員事業者 (多数) ※順不同